

広報 しんち

10月1日現在
()内は前月比

世帯	1,991世帯 (+5)
男	4,379人 (+1)
女	4,519人 (+12)
合計	8,898人 (+13)

116号

55/11



この人 この道

菅野 京さん
(中島)

最近の車社会は、県民の二・七人に一人が運転免許を有し、自動車保有台数が百万台を突破するまでに達しているが、なかでも、女性ドライバーの増加が目立っている。ここに登場する菅野京さんは、昭和三十四年に第一種運転免許を取得、女タクシー運転手として今なお健在ぶりを示している。

京さんが運転免許を取得した当時は、自宅で日本通運新地営業所を開設、運転免許も必要にせられてのもので、女だてらにトラックに荷物を満載し、夜遅く峠越えをしたこともあるという。その後貨物列車が新地駅に停車しなくなったのを契機に営業所も閉鎖。夫の一正さんが昭和四十一年に始めた観光ハイヤーの運転手として、再びハンドルを握る。

京さんの二種免許取得は昭和三十八年にさかのぼるが、二種免許の取得は県内で女性として二番目で、試験官から「本当にとるつもりなのか」と疑がわれたほどだという。やつとの思いで取得した二種免許も、仕事をしていく中では後悔もしばしば。というのも、盆正月の忙しい時期にはろくに食事をとる暇もなく、オニギリ片手に一日三百五十キロも走り、皆が歌だ踊りだと遊ぶ時に限って忙しく、どこにも行けないのが一番つらかったと振り返る。

今では車も六台、従業員も七人となり、朝晩の忙しい時だけにハンドルを握る毎日だが、「お客様を乗せるのは、命を預っている以上、一瞬たりとも気が抜けない」と語る京さんの明るい性格から、運転手としての評判は今なお高い。五十一歳。



▲“私もう疲れたの” 家族そろって参加のオリエンテーリング



△一瞬の技が勝負を決める柔道



△はじめて競技参加の空手、今年は日頃の練習ぶりを型で披露



△一枚の皿の動きに全神経を集中するクレー射撃

第5回町民体育祭 スポーツの秋を満喫 10種目に 1,500

今年で5回目を迎えた町民体育祭が、9会場で開かれました。

今年の町民体育祭には1,500人を超える、ソフトボールなど10種目に熱戦をくりひろげました。

秋を満喫

人が熱戦

10月10日、新地小学校など

す町民が参加し、バレーぼーくりひろげました。



▲午前7時から新地小学校で行われた開会式



▲参加28チーム中、優勝をかち得た木崎チーム

(ソフトボール一般の部)



体 育 祭 結 果

◇ソフトボール (公民館グラウンド外)

●一般の部 一位木崎親和会
二位チヂミヨリ
ン(釣師 大戸) 三位南菅谷 中里 ●壮年の
部 一位福田小P.T.A 二位中区 (城内 駒町
新町 上ノ町) 三位菅谷 岡

◇バレー ボール (尚英中体育館)

●婦人の部 (九人制) 一位中区
二位愛好者
クラブ 三位小川若妻会 ●家庭の部 (八人制)
一位今泉婦人会 二位駒ヶ嶺 三位小川OB

◇柔道 (新地小屋体)

●小学生の部 一位森幸則 (杉目) 二位阿部
貴英 (杉目) 三位森幸宣 (リ) ●中学生の部
一位荒川修 (中島) 二位加藤順一 (杉目) 三位
林義美 (岡) ●高校生の部 一位八巻勉 (高
田) 二位小幡健二 (新地高) 三位谷津田芳久
●一般の部 一位中津川和正 (岡) 二位林和英
(上真弓) 三位齊藤広文 (新地町)

◇剣道 (新地小屋体)

●小学生の部 一位横山昭一 (明地) 二位小
泉幸二 (新地町) 三位渡辺量介 (鉄炮町) 寺
島裕明 (リ) ●中学生の部 一位門馬英光 (中
島) 二位長塚智記 (堺浜) 三位片平正昭 (岡)
泉田茂義 (岡) ●高校生の部 一位泉田耕司 (岡)
二位菅野誠一 (新地町) ●一般の部 一位寺島
昭幸 (城内) 二位草野輝雄 (沢口) 三位遠藤
徳雄 (小川) 阿部庄一 (城内)

◇サッカー (新地高グラウンド)

●中学生男子の部 一位早川典夫 (新地町) 加
藤賢二 (杉目) 三位新地サッカー (一般)

◇軟式テニス (尚英中テニスコート)

●中学生男子の部 一位早川典夫 (新地町) 加
藤賢二 (杉目) 三位新地サッカー (一般)

◇射撃 (相馬市初野射撃場)

●Aクラス 一位日黒資一 (富倉) 二位加藤
輝雄 (杉目) 三位鈴木清一 (城内) ●Bクラ
ス 一位小島健男 (富倉) 二位加藤崇一 (杉目)
三位荒健治 (中里) ●Cクラス 一位渡部康喜
(新町) 二位加藤晃文 (杉目) 三位加藤敏雄
(杉目) ●総合優勝日黒資一

◇オリエンテーリング

●小学生男子の部 一位加藤伸二 (杉目) 寺島
尚美 (大戸浜) 寺島信夫 (リ) 二位丸田和弘
(上真弓) 寺島修 (作田) 山木一弘 (上真弓) 佐
藤嘉弘 (杉目) 寺島貴之 (新地町) 菅野宏
之 (今泉) 三位吉田由美江 (藤崎) 佐藤幸子 (新
町) 高橋奈奈子 (藤崎) ●小学生女子の部 一位佐
藤啓子 (中島) 黒田クニ (リ) 阿部貞子 (中
島) 二位西坂通子 (小川) 佐藤純子 (今泉) 佐
藤恵子 (上真弓) ●女性の部 一位早見礼子 (相
馬市) 伊藤よし子 (大戸) 高崎ひろみ (城内) 佐
藤嘉弘 (杉目) 佐藤智恵子 (釣師) 二位井上
一位林真津子 (上真弓) 寺島幸枝 (作田) 菅野美
智子 (中島) 阿部洋子 (中島) 木村良子 (新地町)
砂金めぐみ (小川) 佐藤智恵子 (釣師) 二位佐
藤修 (上館ハルミ) (岡) 三位佐藤智恵子 (釣師)
鈴木サダノ (中島) 齋藤アサイ (沢口) 二位水戸昇
加藤修 (中島) 三位佐藤智恵子 (釣師) 二位佐
藤智春 (中島) 三位佐藤智恵子 (釣師) 二位佐
藤目黒貞子 (新地町) 三位佐藤智恵子 (釣師)

◎献血の日程
○12月5日～7日
○午前9時30分～午後4時
（5日は午前10時から）
○会場 老人憩の家前
なお、次回は来年1月22日に
も行う予定です。
◎献血のできるかた
○年齢 満16歳～64歳
○体重 男45kg 女40kg以上
○最高血圧 100mmHg以上
○前回の採血から一ヶ月以上経過しているかた
○現在なにかの病気で服薬等していないかた

献血にご協力ください

12月5～7日に
献血車が来町

お
ら
せ



最低賃金が改定

一日二、五八三円に

福島県の最低賃金が、十月十六日から改定されました。

この最低賃金は、県内の事業場で使用されるすべての労働者に適用されますので、使用者はこの最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

最低賃金額	除外賃金
一日二、五八三円	精勤手当
一時間 三三三円	通勤手当

（賃金が時間によって定められたもの）

（注）福島県産業別最低賃金の適用をうける労働者については、産業別にきめられている最低賃金が適用されます。

最低賃金についての照会、相談は、相馬労働基準監督署（☎〇二四三一六一四一七五）へ

9月	新地北工業団地企業誘致特別委員会陳情
11月	敬老年金支給、農林水産省大臣冷害対策陳情
12月	県選出大臣就任祝賀会所運動会
13日	駒ヶ嶺小、新地、福田保育園
14日	県選出大臣就任祝賀会
15日	駒ヶ嶺小、新地、福田保育所運動会
16日	56年度県営は場整備事業陳情
17日	尚英中運動会
18日	相馬地方広域市町村圏組合正副管理者会
19日	9月定例町議会（～25日）
20日	相馬方部衛生組合議会
21日	松ヶ房ダム陳情
22日	原町保育所運営委員会
23日	113号線既成同盟会監査
24日	県町村会理事会（～3日）
25日	教育委員会委員歓迎会
26日	火災特別委員会陳情
27日	原町保育所運営委員会
28日	冷害対策特別委員会
29日	松ヶ房ダム陳情
30日	町民体育大会

9月届出	
△出生（届出は14日以内に）	
おめでとうございます。	師 目田 口
卓勝 健志 ゆかり	伊藤 水戸 鈴木 福島 中津川 八巻島 加堀江
ふじ子 弥和 紀夫	水戸 勇裕 和夫 和和 晴夫
亞希友達	鈴木 大山 沢岡 上木 中
△死亡（届出は7日以内に）	
おくやみ申しあげます。	鈴木 勝也 田口 也茂 伸也
森 荒 寺島	アキ 萬重安

9月	稻刈りにかかりやりて無沙汰詫ぶ 電話に親し兄の声きく 伊藤 正子
10月	米びつの製作月日を印したる 亡夫の筆跡見つつなきたり 朝の光りにかがやきてをり 三宅みさの
11月	つぶら実の柴式部はつやめきて 小松 永子
12月	父と息と何語りぬ肩寄せて 受験の宵の静かに更くる 洋子
1月	子らバトミントンにはづみたる声 野菊摘み薊を折りて夕遅く 宮西 とく
2月	翁近く芙蓉描ける暁さがり 孫ら上衣を汚し帰り來 目黒美津英
3月	散りかかる桜の枯葉にふれにつ 報鼓を打つと きざはしのばる 水戸 幸作
4月	点滴をつづける母の枕辺に 深夜自覚めるて寝いき氣づかう 三宅 康
5月	病む人の手紙を読みて想ふ昼 久々にしてみんみんせみ啼く 八島フミ子
6月	離れ住む嫁の来りてお茶をくむ 家族くつろぐひとときたのし 横田八重子
7月	孫ら上衣を汚し帰り來 目黒美津英
8月	片言で我がまま通す孫と居て ふりまはざれるひと日永かり 木戸 幸作
9月	茅葺の木戸をくぐれば土間広く もんべの主は古武士のごとし 小野 義男
10月	薑草刈り残されて雨浸みる 菊の上遠ちの波の刀こぼれ易す 代光 富峰
11月	木屋のひそとこぼれて医者屋敷 石田 渥城
12月	初しぐれ篠うちわたることさらに 麗ら

新地歌壇

紅葉濃し華厳の滝のつぼ近く
霧立ち込めて淡き虹見ゆ

荒 よしの
師を囲み友と語りし鹿狼湯に
語り尽せず日暮れとなりぬ

田んぼは寒く刈り残る稻
片平 とし
減反に追ひ打ちかけし冷害の
歌友みまかりぬ七十九歳

老いの日々生きがひなりと鶏飼ひし
離れ住む嫁の来りてお茶をくむ

家族くつろぐひとときたのし
横田八重子

病む人の手紙を読みて想ふ昼
久々にしてみんみんせみ啼く

点滴をつづける母の枕辺に
深夜自覚めるて寝いき氣づかう

病む人の手紙を読みて想ふ昼
久々にしてみんみんせみ啼く

新地俳壇

薑草刈り残されて雨浸みる

菊の上遠ちの波の刀こぼれ易す

代光 富峰

木屋のひそとこぼれて医者屋敷

石田 渥城

初しぐれ篠うちわたることさらに

麗ら

名月を挙む用意の豆匂う

辻 齋藤 清子